

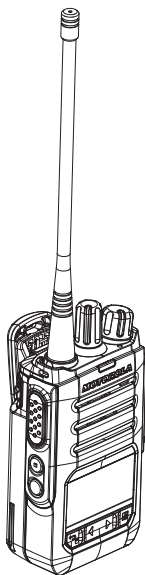


MOTOROLA SOLUTIONS

デジタル簡易業務無線 MiT5000（免許局）

無線局種別コード：3B
4 値 FSK 変調

簡易操作ガイド



本書には、本機を安全にお使いいただくための操作方法、高周波エネルギーに関する注意、適用規格への準拠および関係法令の順守についての重要な情報が含まれています。ご使用前に必ずお読みください。

はじめに

安全上の
ご注意

各部の
名称と機能

モトローラ・ソリューションズ株式会社

目次

はじめに	5
安全上のご注意	6
正しくご使用いただくために	12
通信方式に関して	13
構成品	13
リチウムイオン電池パック（アクセサリ）のリサイクルについて	13
各部の名称と機能	14
LED インジケーターの動作概要	16
アンテナの取り付け	16
ベルトクリップの取り付け	17
ハンドストラップの取り付け	18
電池パックの取り付け / 取り外し	19
電池パックの充電方法	20
通信について	22
通信の基本操作	24
簡易リスト一覧	29

デジタル簡易無線機の保証と責任

I. 保証対象及び保証期間：

本デジタル簡易無線機器は、モトローラの品質基準の基にモトローラ・ソリューションズ株式会社（以下「当社」といいます）で製造されたものです。

当社は、正常な使用状態で下記のデジタル簡易無線機器（以下「製品」といいます）の材料上又は製造上の欠陥に対し、ご購入日より以下に示す保証期間内の保証を行います。

無線機本体.....2年間

当社は本保証規定に従い、保証期間内は無料で製品の修理（純正部品を用いて）、交換を致します。本体の保証期間に関しましては、お客様がご購入になった製品の保証期間で算定されます。交換した製品または部品は当社の所有となります。

本保証書は製品ご購入者に限り有効であり、第三者に譲渡されるものではありません。

当社役員による署名付きの書面での同意がある場合をのぞき、本保証書への追加及び変更に対して、当社はいかなる義務及び責任を負いません。当社と製品ご購入者の間で個別の同意がない限り、当社は製品の取り付け、メンテナンス又はサービスの保証は行いません。当社は、製品に装着又は接続して使用される当社及びモトローラ供給以外のアクセサリを使用した製品の運用に対し、いかなる責任も負いません。

通信システムで本製品が使用される場合、当社は、そのシステム全体、サービスエリア、運用等をまとめて本保証規定で保証するものではありません。

II. 保証規定：

本保証書は、製品に対する当社の責任と保証を定めたもので、一切の保証は保証期間内に限定されます。当社は当該製品の使用もしくは不使用に起因するご購入者の被る逸失利益、業務の中断、機会の損失やこれらに類する損害、または二次的損害等についての責任を負いません。

III. 以下は保証対象外となります：

- A) 製品を正常かつ通常の使用方法でお取り扱いにならないことよって生じた故障及び損傷。
- B) 誤った、又は乱暴なお取り扱い、事故、腐食、火災、水害、又は放置によって生じた故障及び傷。
- C) 誤った、又は認可されていないテスト、使用、メンテナンス、サービス、修理、取り付け、変更、修正、又は調整によって生じた故障及び損傷。
- D) 材料上又は製作上の欠陥に直接起因する以外の理由で生じたアンテナの破損及び損傷。
- E) 説明書に記載の使用方法に反するお取り扱いを受けた製品。
- F) 製品の性能に支障をきたす、又は正常な保証検査及び補償請求確認のため

デジタル簡易無線機の保証と責任

の製品テストを妨げるような、認可されていない改造、加工、分解、純正でない部品又は電池の使用と修理（当社が認可していない装置を使った製品に対する追加を含む）がなされた製品。

- G) 製造番号が取り除かれた、又は製造番号が判読できない製品。
- H) 利用者の修理が認められていない部品又はモジュールに付いたシールが外れている製品。
- I) 修理品発送に対する送料。
- J) 製品のソフトウェア / ファームウェアに不法又は無許可の変更が加えられている製品。
- K) 製品の運用に影響を与えない、製品の表面に付いた傷、又は外観上の損傷。
- L) 正常なご使用における自然消耗、摩耗。
- M) 当社でプログラムされていないメモリーモジュール。
- N) 保証期間を過ぎた保証請求。

IV. 特許及びソフトウェア規定：

当社供給以外のソフトウェア、装置一式又はその一部を備えた製品又は部品の組み合わせに基づいた特許権の侵害請求に関して一切の責任を負いません。また、当社は製品に装着又は接続する、モトローラ供給以外の付属品又はソフトウェアの使用に対していかなる責任も負いません。上記は、製品又は部品に関し、特許権の侵害に関する当社の全責任を提示したものです。法律により、著作権で保護された当社のソフトウェアのコピー制作及びコピー流通の占有権など、当社の特定の占有権は保護されています。当社のソフトウェアは販売時に組み込まれている製品内でのみ使用されるものであり、当該製品の当該ソフトウェアはいかなる交換、コピー、流通、修正及び派生物の製造に使用されるものではありません。当該当社ソフトウェアの無制限の変更、修正、再生、流通、リバースエンジニアリング及び当該当社ソフトウェアが有する諸権利の行使などは禁じられています。当社の特許権又は著作権の元でない限り、いかなる許可も含意及び禁反言によって認められるものではありません。

V. 保証サービスの受け方：

保証サービスを受けるためには、ご購入を証明するもの（ご購入日と製品製造番号が明記されてあるもの）を添え、ご購入の販売店までご持参又は郵送してください。送料、保険はおお客様のご負担になります。

VI. お問い合わせ先：

本保証規定に関してのご不明な点は下記までご連絡下さい。

モトローラ・ソリューションズ株式会社

PCR 事業部

コールセンター 0066-33-813730

https://www.motorolasolutions.com/ja_jp.html



はじめに

このたびはモトローラのデジタル簡易無線機「MiT5000」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書はMiT5000の基本的な操作方法について説明した簡易操作ガイドです。ご使用前に必ずお読みください。



詳細な操作方法を記載した取扱説明書は弊社 Web サイトよりダウンロードできます。

その他、お客様ごとに設定された機能などについては、お買い求めいただいた販売店にお尋ね下さい。

■ ご注意

- この無線機は、職業上管理された状況での使用を意図した製品です。使用者は、自身の曝露に関する十分な知識を持ち、国際標準規格の職業曝露限度を守るよう自身の曝露を管理できる者を想定しています。一般消費者による本機の使用は認められていません。
- 通話は、無線局免許状に記載されている目的、通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。ただし、人命の救助、洪水、火災などの災害時に、人命にかかわる通信を行うときはこのような制限はありません。
- 他人から頼まれて通信したり、他人の用件のために無線機を貸して使用することは電波法令で禁じられています。
- 他人の通話を聞いて、これを漏らしたり悪用することは電波法令で禁じられています。
- 本機は電波法令で定められた技術基準に適合（合格）していますので、分解や改造は電波法令で禁じられています。
- このデジタル簡易無線機は国内専用モデルです。海外では使用できません。

■ 本文中のマークの意味は次のようになっています。

	警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

安全上のご注意

■ 製品の安全性と電磁波による影響（携帯型無線機用）

本機を他の使用者に譲渡する場合には、使用者は、必ず本機の電磁波についての取り扱いが書かれた説明書（本書）を添えてください。

この無線機は、離れた2つの間の通信を提供するため、無線周波数帯の中の電磁エネルギー、すなわち電波を使用しています。無線通信のエネルギーである高周波エネルギーは、電磁エネルギーの一形態であり、例えば日光やX線もその1つに含まれます。しかしながら、高周波エネルギーは、不適切に使用された場合に生物学的損傷を引き起こす可能性が高い電磁エネルギーと同じように考える必要はありません。（例えば、X線の非常に高いレベルは、組織および遺伝物質を損傷する可能性があります。）

モトローラの無線機は、以下の高周波エネルギーや電磁エネルギーのガイドラインに準拠しています。

- 米国電気電子学会（IEEE）C95.1
- 国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）

無線通信のための高周波エネルギーを安全に使用するため、科学、工学、医学、健康、そして産業分野に詳しい専門家が協力し、国際的な基準を策定しています。この基準はビジネスや一般的に使用される無線設備から放射される電波の推奨される値を提示しています。この値については、保護のため通常かなり余裕をもった値になっています。

すべてのモトローラの無線機は、こうした国際基準の値を満たすように設計、製造、およびテストされています。さらに、無線機の製造業者も無線機を使用されるお客様に安全にお使いいただけるような操作手順をお勧めしています。これらは高周波エネルギーについての知識をお客様にご理解いただき、無線機を安全に使用する方法についての簡単な手順を提供するために非常に重要なことです。

電磁波エネルギー曝露限度（電波が人体に与える影響において、人体が受けても差し支えない限度）について国際基準に準拠するには、以下の手順に従ってください。

- 電磁波エネルギー曝露は、アンテナからの距離の増加と共に減少します。
- 送信している間、人体暴露を与えています。連続送信するなど、50%送信比率を超えないようにしてください。
- 無線機本体やアンテナから鼻や唇が2.5cm以上離れた状態で、無線機のマイクが顔の前に来るようにして持ちます。アンテナは目から離れた状態にしておく必要があります。
- モトローラ純正のアクセサリをご使用ください。





高周波エネルギー曝露は、アンテナからの距離の増加と共に減少します。

- ・装着してのご使用について。人体に装着するときは、必ず、モトローラ純正の本機専用のクリップ、ホルダー、ホルスター、またはケースに装着してお使いください。モトローラ純正品以外のアクセサリをご使用になると、職業上管理された環境における高周波曝露の限界値を超える曝露レベルになる場合がありますので、純正の装着用アクセサリをお使いください。
- ・アンテナ、バッテリー、オーディオアクセサリについては、必ずモトローラ純正の付属品または交換用品をお使いください。純正品以外のアンテナ、バッテリー、アクセサリ（有線または無線）をご使用になると、適用される高周波曝露に関するガイドライン（IEEE、ICNIRP）を超える場合があります。

■ 航空機 / 医療機関について

機内、病院、および医療機関では外部電磁波エネルギーの影響を受けやすい機器を使用していることがあります。電源を切るよう指示されている場所では無線機の電源を切ってください。

■ ペースメーカー

米国先進医療技術工業会 (Advanced Medical Technology Association) (AdvaMed) は、無線機とペースメーカーの間の距離を少なくとも 15cm は維持することを推奨しています。ペースメーカーを着用されている方は本機のご使用を控えてください。やむを得ず無線機を利用する場合は必ず、無線機を着用のペースメーカーから少なくとも 15cm 離しておいてください。

何らかの理由により、妨害が生じていることが疑われる場合には、すぐに無線機のスイッチをオフにしてください。

無線機からの干渉の潜在的なリスクについて、医師に相談してください（不十分シールド医療機器が干渉を受けやすくなる場合があります）。

■ 補聴器

無線機は、一部の補聴器に干渉することがあります。干渉する場合は、使用している補聴器メーカーに相談してください。

■ その他の医療機器

その他の個人用医療機器を使用する場合は、メーカーに相談してください。

■ 安全運転について

運転中に無線機を使用しないでください。

道路交通法、第 71 条第 5 号の 5 の規定により運転中に無線機を手に持って使用することは禁止されています。

事故の原因になりますので、まず安全な路肩に寄せ、停車してから、通信をおこなってください。または、ハンズフリー用純正アクセサリのご使用を推奨しています。

安全上のご注意

■ 音量について

大きな音が原因による聴覚の障害については、最初は自覚することなく、後になって感じられることがあります。長時間大音量で受信すると聴覚に影響を与えますので、最小限音量で、また短時間で使用してください。

聴覚を保護するには、次の事をお守りください。

- ・最低限必要な音量で使用してください。
- ・周囲の騒音で聞こえない時のみ、音量を大きくしてください。
- ・ヘッドセットまたはイヤホンを接続する時は、音量を下げてください。
- ・長時間、大音量でヘッドセットやイヤホンを使用しないでください。
- ・ヘッドセットまたはイヤホンなしで無線機を使用する場合は、直接耳にスピーカーをあてないでください。

安全上のご注意



エアバッグ

- ・エアバッグの配線との干渉を避けるために、無線機の設置場所を、車両の製造元マニュアルを参照してください。
- ・エアバッグの部分、またはエアバッグが膨らむ場所に無線機を置かないでください。エアバッグは強い力で膨らみます。無線機がエアバッグの膨らむ場所に置かれている場合、エアバッグが膨らみますと無線機が強い力で押され、車の搭乗者がけがをする原因となります。



発破区域での使用

- ・発破区域および雷管の近くでは無線機の電源を切ってください。
- ・爆発に影響を与えないよう、「発破危険」のように表示されている場所では、無線機の電源を切ってください。
- ・爆発の恐れのある場所に立ち入る場合、立ち入る前に無線機の電源を切ってください。
- ・爆発のおそれのある場所とは、ボートのデッキの下などの燃料補給・貯蔵場所、燃料や化学薬品の運送または貯蔵施設、および、空気中に穀物、ほこりや金属粉末などの化学物質や粒子が含まれている領域など、危険なガス、蒸気、または埃がある可能性があり、危険であると分類され、とりわけ爆発のおそれのある場所のことを言います。
- ・爆発の可能性のある場所での、取り付け、取り外し、および充電をしないでください。火花が散ることによってそれが爆発や火災の原因となり、身体的な損傷や死亡につながる恐れがあります。



アンテナ

アンテナが壊れている無線機は使用しないでください。

壊れているアンテナの導体が皮膚に触れ、送信した場合、軽いやけどをすることがあります。



電池パック

すべての電池は、物的損害または傷害を引き起こす可能性があります。電池パックは、金属製のものと共にポケットなどに入れたり金属ケースに入れないでください。端子が他の金属製のものによりショートし、火傷、発火の危険があります。危険環境下で電池パックを交換したり、充電しないでください。電池パックの脱着時に端子から火花が飛び、爆発や火災の原因になることがあります。不正な修理をおこなったり、ラベルの貼り替えを行いますと、その機器の認定が無効となる場合があります。



静電気について

静電気が発生しやすい場所・条件でイヤホンをご使用される場合、静電気によって耳の皮膚に電気ショックを感じる場合があります。そのような場合はイヤホンを使用しないようにしてください。



アクセサリについて

- ・当社製機器は、ホームページのリストに掲載されるアクセサリが認定機関によって認定されています。アクセサリとの組み合わせは、厳密に遵守する必要があります。
- ・接触不良の原因となりますので、アクセサリを使用しないときには、アクセサリコネクターカバー / フタを付けてご使用ください。

■ その他の安全上の注意



運用場所について

ゴルフ場などの野外で無線機を使用中に雷鳴が聞こえた時は、落雷のおそれがありますので無線機を使用しないでください。



その他電子機器との混信

正しく設置されていない、また、十分にシールドされていない自動車の電子操作系統や娯楽用機器など、電磁波によって影響を受ける場合があります。その場合、それぞれの販売メーカーまたは販売店に、それらの設備が外部からの電磁波から適切にシールドされているかどうかご確認ください。また、自動車などに別途追加した設備についてもご確認ください。



衝撃

強い衝撃をあたえたり、投げつけたりしないでください。アンテナが破損することがありますので、無線機を持つときは、アンテナをつかまないでください。

安全上のご注意



使用環境

- ・異常に温度が高くなるところや、直接雨や水のかかる場所に放置しないでください。変形や故障の原因になる場合があります。
- ・直射日光のあたる場所（自動車内）や高温になる所、極端な低温環境に無線機本体を置かないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

■ 電池パックの取扱いについて

重要： 思わぬ怪我や損害を避けるために、電池パックの保管と取扱は適切に行ってください。

ほとんどの電池パックの問題は、不適切に取り扱ったか、もしくはダメージのある電池パックを使用し続けたことに原因があります。

下記のガイドラインに従ってご利用ください。



- ・高温になる車の中などに充電電池を放置しないでください。
- ・電池パックを落とさないでください。電池パックを落とすことにより、特に固い床などでは、ダメージの潜在的な原因となります。
- ・分解、押しつぶす、穴をあける、裁断する、もしくは電池パックの形状を変更するような試みはお止めください。
- ・電池パックを水につからないようにしてください。水は電池パック内部の回路に侵入する場合があります、腐食などを引き起こします。
- ・金属類を電池パックに触れないようにしてください。もし金属類、たとえば貴金属装飾品などが端子に長期間触れたままの場合、電池パックが高温になる場合があります。
- ・高温になる熱源には近づけないでください。過度の熱は無線機や電池パックにダメージを与えます。高温はまた、電池パックが故障したり、液漏れ、膨張の原因になる場合があります。
- ・濡れたり湿った電池パックをドライヤーや電子レンジのような家電製品、もしくは熱源などで乾かすのは決してしないでください。

■ 取扱い上のお願い



- ・充電の際には専用の充電器を使用してください。
- ・電池パックを使用しない場合には、無線機本体から外して湿気の少ない場所で保管してください。
- ・電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで、清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。
- ・無線機本体の清掃の際は、糸くずのつかない乾いた柔らかい布で汚れを落としてください。

- ・無線機を直接、洗剤の溶液の中に入れるようなことは絶対にしないでください。
- ・洗剤、溶剤、アルコールなどで無線機を清掃すると、無線機を傷つけたり破損したりすることがあります。

■ 防水性能について

本機は、IEC 国際規格 IP67 (防塵等級 6^{*1}、防水等級 7^{*2}) の防塵、防水性能を有しています。この性能を末永く確保していただくために、必ず、ご使用になる前に下記の項目をご確認ください。



- ・キーやボタンのラバー、アクセサリ端子の保護カバー、電池パック接合部分などに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。
- ・海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ・本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
- ・本機は、水中での使用はできません。
- ・濡れている状態で充電しないでください。
- ・マイク、スピーカー部に尖ったものを差し込まないでください。
- ・水滴が付着した場合は放置せず水滴を拭き取ってください。
- ・雨の中や水滴が付いたままの電池パックの取り付け / 取り外しや、アクセサリコネクタカバーの着脱は行わないでください。
- ・防水性能の記載がある付属品・アクセサリを除いては、防水性能を有していません。
- ・熱湯、温風 (ドライヤーなど) を無線機にあてないでください。
- ・極端な温度の変化でのご利用は避けてください。結露のため内部が腐食し故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・ご使用になる環境はそれぞれ異なりますので、全ての状態での防水性能を保証するものではありません。

製品本体の防水性能を維持するためには、異常の有無に関わらず保証期間経過後、1年に一度のメンテナンスをお勧めします (有償にて承ります)。過失等、故障内容によっては、保証期間内においても有償修理の対象となる場合があります。

※ 1 : 粉塵が内部に侵入しない。

※ 2 : 水深 1m の水没に 30 分間没しても有害な影響を受けないこと。

安全上のご注意

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.

U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

正しくご使用いただくために

- ◎ 電池パックはお引渡し時には、十分充電されていません。ご購入後は、必ず充電してからお使いください。
- ◎ 本機にマイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正アクセサリを使用してください。当社純正品以外のアクセサリを使用すると、故障や破損の原因になります。
当社純正品以外のアクセサリの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。
- ◎ リチウムイオン電池パックを充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください。当社指定以外の充電器を使用すると、火災や故障の原因になります。
- ◎ 外部マイクロホンを取り付けた際は、コードを強く引き伸ばしたままにしないでください。コードの断線などにより、故障の原因になります。
- ◎ 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください。
- ◎ 電波法により、無線機やマイクを分解・改造・指定以外の装置を接続することは禁じられています。
- ◎ 周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。
- ◎ 通話する際は、マイクから2.5センチ以上離して普通の声量で話してください。マイクと口元の距離が近かったり、声が大きかったりすると、音声割れたり、歪むことがあります。
- ◎ 運用が終わりましたら、電池パックが消耗しないように、無線機の電源を切ってください。一週間以上使用しない場合は、無線機から電池パックを外してください。
- ◎ 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

通信方式に関して

- ◎ 本機は、業務利用型のデジタル簡易無線機（デジタル通信方式）です。使用できる通信方式は、簡易無線局の免許内容により異なりますので、詳しくは、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。
- ◎ 本機は、ARIB 規格に準拠した、他社互換デジタル通信モード“ユーザーコード通信”に対応しておりますので、互換を示す種別コード「3B」の他社デジタル簡易無線機と通信することができます。

構成品

- ◎ 無線機本体
- ◎ ベルトクリップ (CLIP-20)
- ◎ アクセサリー端子カバー
- ◎ 簡易操作ガイド (本書)

安全上の
ご注意

リチウムイオン電池パック (アクセサリー) のリサイクルについて

リチウムイオン電池パックはリサイクルできます。
リチウムイオン電池パックが不要になった場合は廃棄せずに、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。



Li-ion

各部の名称と機能

①アンテナ端子

付属のアンテナを接続します。

②PTTスイッチ (PTT)

押し続けている間は通話、放すと待ち受けの状態になります。

③プログラム 1 キー (⊙)

補足

希望の機能を割り付けることができます。

初期値は、短押しで録音、長押しの割り付けはありません。

④プログラム 2 キー (○)

希望の機能を割り付けることができます。

補足

初期値は、短押しで音声案内、長押しで緊急機能が動作します。

⑤電源スイッチ / 音量調節つまみ (IIII)

右へまわすと電源が入り、更にまわすと音量の調節になります。カチッと音がするまで左へまわし切ると電源が切れます。

⑥ロータリースイッチ (IIII)

チャンネルを選択するときにまわします。

⑦LED インジケーター

受信中は通信方式により“緑色”“水色”“青色”または“白色”に点滅します。送信中は“赤色”または“青色”に点灯します。バッテリー消費時は、“赤色”で点滅します。

⑧アクセサリ端子

アクセサリ端子カバーを外して、スピーカーマイク等のアクセサリを接続します。

⑨マイク

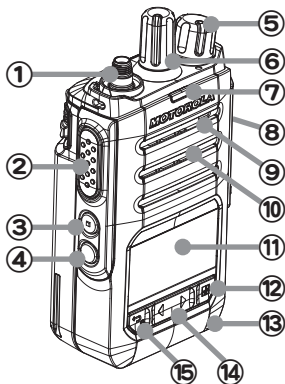
⑩スピーカー

⑪ディスプレイ

















←IIII アイコン表示部

←IIII 緊急状態 / 通信状態表示 / 電池残量表示



⑫ 選択 / 機能キー ()

短く押すと簡易リスト (p.29 参照) を表示します。
 押しながら電源を入れると拡張機能に移行します。
 ※拡張機能の詳細については取扱説明書を参照願います。

アイコン	アイコン説明
	アンテナ (電界強度表示 / 送信出力表示) 受信時: 受信している電波の強さに応じて 4 段階で表示します。 送信時: 送信出力別に 5W  、2.5W  、1W  が点灯します。
	秘話: 秘話機能が動作中に点灯します。
ID CH	ロータリースwitchの動作表示 ID : 呼び先選択機能として動作します。 CH : チャンネル選択機能として動作します。
	メッセージ: メッセージ送信中 / 受信中に点滅します。
	VOX (ボックス): VOX 機能が動作中に点灯します。 セミ VOX オペレーション時は  が点灯します。
	録音メモ: 音声メモ機能が録音待機中、及び録音中に点灯します。
	キーロック: キーロック機能が動作中に点灯します。
	スキャン: スキャンチャンネルが登録 / 動作中に点灯します。 スキャン動作中に受信したチャンネルで点滅します。
	電池パック残量: 電池パックの残量を 5 段階で表示します。  (点滅)  と LED インジケータ (赤色) が点滅し警告音が「ピピッ」と鳴った時は、直ちに充電を行ってください。

⑬ ノイズキャンセリングマイク

周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信するために設けられています。
 底面右下にある穴は塞がないようにしてください。

⑭ 左右選択キー ( )

簡易リストや拡張機能等で、左右選択キーとして動作します。
 設定項目で数字が 3 桁以上の場合、“桁” 選択キーとして動作します。
 個別通信では、ID 番号の選択キーとして動作します。

⑮ 戻るキー ()

簡易リストや拡張機能等で、一つ上の階層に戻します。設定変更中に押すと、変更を確定しないで変更前の表示に戻ります。
 チャンネル表示画面で 1 秒以上押すとキーロックになり、再度約 1 秒以上押すと解除されます。

各部の名称と機能

LED インジケータの動作概要

LED インジケータは通信状況・動作状況に応じて下記のように点灯・点滅します。

LEDの色・状態	通信（動作）状態
緑色点滅	UC 通信受信時、他局通信
赤色点灯	UC 通信送信時、個別通信送信時
赤色点滅	電池アラーム機能動作中
青色点滅	秘話 UC 通信受信時、秘話個別通信受信時
青色点灯	秘話 UC 通信送信時、秘話個別通信送信時
水色点滅	個別通信受信時
水色点灯	個別通信および、秘話個別通信での通話タイマー設定時間内の時（および不在着信時）
白色点滅	緊急アラーム動作時および緊急信号着信時

各部の
名称と
機能

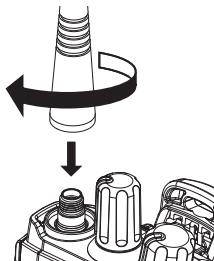
アンテナの取り付け

アンテナコネクタに近い太い部分を持ち、時計まわりにしっかりと止まるまでまわします。



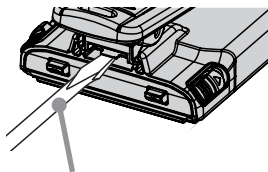
注意

- アンテナの取り付け / 取り外し時には、アンテナの上部を持ってまわさないでください。アンテナ内部で断線することがあります。
- アンテナを外した状態で送信しないでください。送信回路が破損することがあります。

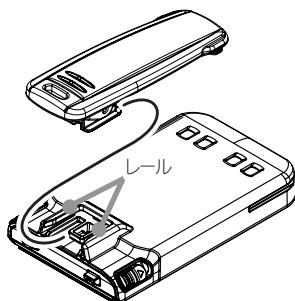


ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップをレールにあわせカチッと音がするまで、確実にスライドします。



マイナスドライバー

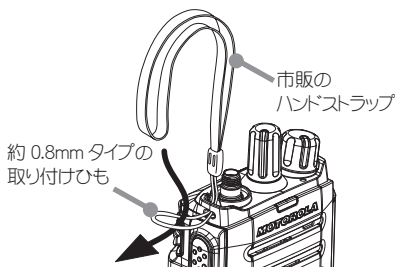


注意

ベルトクリップを外すときは、マイナスドライバー等でロックレバーを押し上げながらスライドして外します。指を使うと爪をはがしてケガの原因になることがあります。

各部の
名称と
機能

ハンドストラップの取り付け

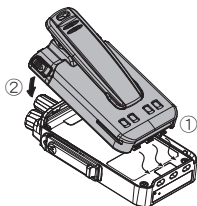


- ハンドストラップの取り付けひもを取り付け穴に通しにくい場合は、ピンセット等で取り付けてください。
- 先端の取り付けひもは約 0.8mm タイプの丈夫なストラップを取り付けてください。また、粗悪なハンドストラップを取り付けると、ひもが切れて落下し故障やケガの原因になります。

電池パックの取り付け / 取り外し

■ 電池パックを取り付ける

1. 本機の背面下部にある凹み部分に、電池パックの突起部分を差し込みます。
2. 電池パックの上面にある左右のロックを「カチッ」と音がするまで押しこみます。



電池パックが確実に取り付けられていないと、落下事故や故障の原因になります。

注意

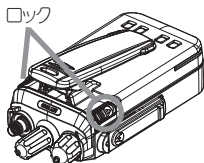
■ 電池パックを取り外す

電池パックの上部左右にあるロックを刻印の矢印方向▼に下げながら、電池パックを外します。



ロックを外す時は、指や爪などを傷めないよう、十分に注意してください。

注意

各部の
名称と
機能

■ 使用済みの取り扱い

- ◎ 前面のプラス端子とマイナス端子及び背面の充電端子をテープ等で絶縁してください。
- ◎ 電池パックを分解しないでください。
- ◎ 電池パックはリサイクルできます。
電池パックが不要になった場合は廃棄せず、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。



■ 電池パックの持続時間

電池持続時間は常温 / 常温において「送信出力 5W 時、送信 5 : 受信 5 : 待ち受け 90」の測定条件になります。周囲の温度により使用できる時間は異なります（極端な高温または低温の場所は使用時間が短くなります）。

電池パック	スーパーセーブ機能 OFF 時	スーパーセーブ機能 ON 時
FNB-V145LI	約 13 時間	約 16 時間
FNB-V144LI	約 8 時間	約 9.5 時間

各部の名称と機能

電池パックの充電方法

アクセサリーの急速充電器セット（CD-70+PA-55A）で電池パックを充電します。

電池パックの充電時間

LED インジケーター	FNB-V145LI	FNB-V144LI
90% 充電（緑色点滅）	約 150 分	約 90 分
充電完了（緑点点灯）	約 180 分	約 120 分

補足

電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、充電してからお使いください。

■ お使いになる時のご注意

- ◎ 専用の AC アダプタ以外の電源は絶対に使用しないでください。
- ◎ 急速充電器セットは充電機能のみで、外部電源としての機能はありません。
- ◎ 充電は、周囲の温度が“+5℃～+35℃”の場所で行ってください。
- ◎ 規定の充電時間以上経っても充電が完了しない場合は、すぐに充電を終了してください。電池パックの寿命です。新しい電池パックに交換してください。
- ◎ 充電中にチャージャースタンドや AC アダプタが発熱する場合がありますが故障ではありません。
- ◎ 充電中にテレビやラジオにノイズが入ることがあります。できるだけ離してください。

■ 充電器（チャージャースタンド）の LED インジケーター

赤色点灯	急速充電中
赤色点滅	充電エラー（電池パックの誤挿入、不良電池パック、過充電など）
緑色点灯	充電完了
緑色点滅	90% 充電（もう少しで充電が完了します）
緑色点滅（1回）	CD-70 に PA-55A から電源が供給されたとき。
橙色点滅	予備充電（以下の原因が考えられます） 1. 電池パックの電圧が低下している場合（新品または空の電池パックの使用時など） 予備充電が終わると急速充電モードに移行します。 数分後に赤色点滅に切り替わる場合には、電池パックの抜き差しを行って充電動作のリセットを行ってください。 （数回のリセット操作を行っても改善しない場合には、電池パックの交換を行ってください。） 2. 電池パックが充電温度範囲外である場合（低温、発熱、など） 上記の問題が解決されると、急速充電モードに移行します。

■ 使用方法

1. CD-70 の背面にあるジャックに AC アダプタ“PA-55A” のコネクタを差し込み、電源プラグを“AC 100V” のコンセントに差し込みます。

補足 電源プラグをコンセントに差し込むと、LED インジケータが緑色に 1 回点滅します。

2. 電池/パックを装着したトランシーバーの電源を切り、トランシーバー（または電池/パック単体）を CD-70 の充電口に差し込みます。

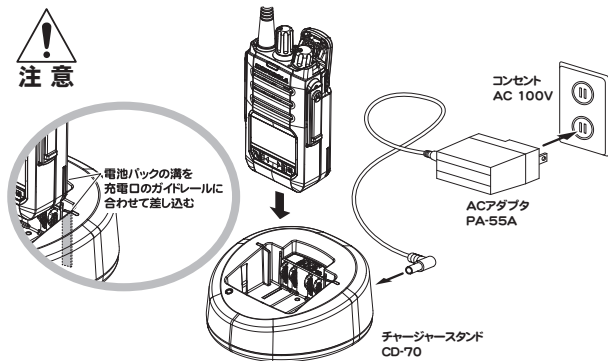
補足 電池/パックの溝を充電口のガイドレールに合わせて差し込みます。



電池/パックを単体で充電するときは、電池/パックの電極が側面に露出しますので、金属片などが触れてショートすることが無いよう十分にご注意ください。

3. トランシーバー（または電池/パック単体）が正しく差し込まれると LED インジケータが赤色に点灯し充電を開始します。
4. 90% 充電になると LED インジケータが緑色に点滅し、充電が完了すると緑色に点灯します（充電時間は電池/パックにより異なります）。

充電完了後は速やかに電池/パックを CD-70 から取り外してください。そのまま長時間充電を続けると、電池/パックを劣化させる可能性があります。



各部の名称と機能

通信について

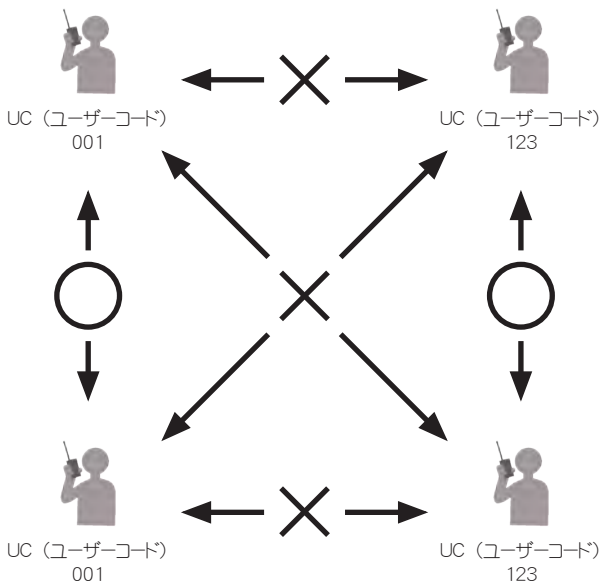
UC 通信と個別通信の 2 通りの通信方式があります。本機は工場出荷時に UC 通信に設定されています。個別通信を行う時はコールモード「C01 通信方式」を“個別通信”に設定してください。詳しくは取扱説明書を参照願います。

■ UC 通信

全員が同じチャンネル番号にあわせていても、同じ UC (ユーザーコード) を設定している者同士だけが、通話することができる通信方式です。

本機は、あらかじめ UC (ユーザーコード) が“000”に設定されていますが、コールモードの「C02 UC」(取扱説明書 参照) で、000 ~ 511 に変更することができます。

UC 通信の通信例



■ 個別通信

全員が同じチャンネル番号と UC（ユーザーコード）に合わせていても、特定の相手だけを呼び出したり（全員を一斉に呼び出すことも可能）、特定のグループに属する全ての局を呼び出して通話することができる通信方式です。

この通信方式を利用するには、各無線機に個別の ID 番号を設定し、さらに特定のグループを呼び出すにはグループ ID の設定が必要になります。個別 ID の設定方法は、コールモードの「C03 自局 ID」を、グループ ID の設定方法は、コールモードの「C04 グループ ID」を参照してください。

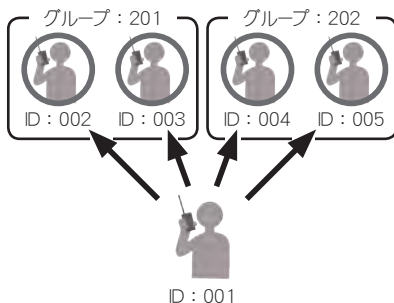
コールモードの設定に関する詳細については取扱説明書を参照願います。

個別通信の通信例

特定の相手だけを呼び出す



全員を一斉に呼び出す



特定のグループに属する全員を呼び出す



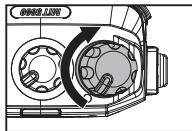
通信の基本操作

1. 電源を入れる

電源スイッチを右にまわすと、電源が入ります。

補足

ディスプレイに起動画面が約 1 秒間表示され「ピピ」とビープ音が鳴り、ディスプレイに現在のチャンネルが表示されます。



2. 音量を調節する

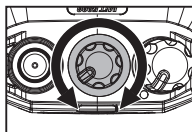
音量調節つまみを 10 ~ 11 時の位置にあわせておき、その後は相手の音声が必要な音量になるよう、音量調節つまみで調節します。

3. ロータースイッチをまわして、チャンネルをあわせる

"CH01" ~ "CH65" を選択することができます。
右へまわすとアップ方向に切り替わります。
左へまわすとダウン方向に切り替わります。

補足


- CH01 - にあわせると、「ポピッ」というビープ音が鳴りますので、トランシーバーを腰につけていた状態でも - CH01 - を確認することができます。

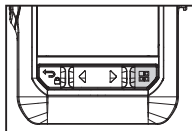


4. 呼び出し方法を選ぶ（個別通信のみ）

UC 通信の場合は手順 6 へ進んでください。

 を長押しして、呼び出し方法を選びます。

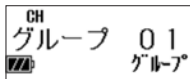
※  を押して“グループ”と“個別”を表示させたときは、登録された ID の一番若い番号が表示されます。



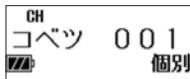
同じチャンネルにあわせている、全ての局を呼び出したいとき



特定のグループに属する、全ての局を一斉に呼び出したいとき



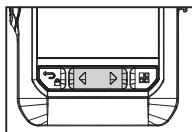
特定の相手局を呼び出したいとき



各部の名称と機能

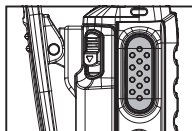
5. 呼び出し先を選ぶ（個別通信のみ）

特定の相手やグループを呼び出したい時は、左右選択キーを押して、“個別ID”または“グループID”を選択します。



6. 送信（通話）する

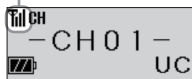
PTT（通話）スイッチを押しながら、マイクに向かって話します。



補足

- 混信を防ぐため、他の無線局が話していないとき（LEDインジケータが緑色に点滅していないとき）に、送信するようにしてください。
- マイクロホンと口元の間隔は、2.5センチ以上離して、普通の声で話します。
- 送信中は、LEDインジケータが赤色または青色に点灯し（p.16参照）、ディスプレイに“**Yil**”が点灯します。送信出力が“Mid（2.5W）”に設定されている場合は“**Yil**”、“Low（1W）”に設定されている場合は“**Yl**”が点灯します。
- 連続送信時間は5分未満と決められています。本機では送信を開始してから約4分50秒後にアラームが「ピピピ」と鳴り、送信開始から5分が経過する前に、自動的に送信が止まります。そのままPTTスイッチを押し続けた場合、送信を開始してから5分間経過すると、その後1分間は送信禁止状態になります。アラームが鳴った際は、速やかに送信を中止してください。

“**Yil**” が点灯



7. 相手の音声を受信する

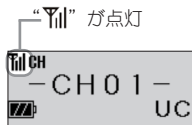
PTT（通話）スイッチを放すと、待ち受けまたは相手の話を聞く（受信）ことができます。

補足

○ 信号を受信すると、LED インジケーターが点滅し（p.16 参照）、電波の強さに応じて、ディスプレイの“アンテナアイコン”が点灯します（最大4本）。

○ 個別通信の場合、相手の話が終わると通話タイマー（初期値は5秒）がお互いに設定されます。応答は、通話タイマー設定時間内（応答待ち時間）に行ってください。

通話タイマーとは、相手が応答するまでの待ち時間で、タイマー動作中はLED インジケーターが水色に点灯します。

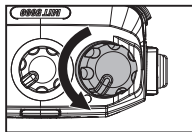


8. 電源を切る

電源スイッチを「カチッ」と音がするまで左にまわし切ると、電源が切れます。

補足

一週間以上使用しない場合は、電池パックが消耗しないように、トランシーバーの電源を切り、トランシーバーから電池/パックを外してください。



各部の
名称と
機能

各部の名称と機能

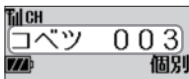
呼び出しを受けたとき（個別通信のみ）

個別通信方式で呼び出しを受けると、ディスプレイ表示の点滅、電子音（着信ベル）、LEDの点滅により、呼び出しがあったことを知らせ、同時に通話タイマー（初期値は5秒）が設定されます。

すぐに応答することができなかった場合、通話タイマー設定時間が経過すると“不在着信状態”となり、呼び出してきた相手局IDの表示が点滅します。その状態でPTT（通話）スイッチを押すと、相手局を呼び返すことができます。不在着信状態をキャンセルする場合は、**[5]**を押してください。

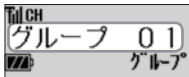
個別呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出してきた相手局のIDが点滅表示されます。



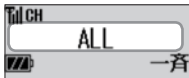
グループ呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出されたグループのIDが表示されます。通話タイマー設定時間が経過すると元の画面に戻ります。



一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、“ALL”が表示されます。通話タイマー設定時間が経過すると元の画面に戻ります。



簡易リスト一覧

項目	設定値 (初期値太字)	機能	
リピート再生	—	自動で録音されている相手局の音声 を再生	
録音メモ	—	録音された音声の再生 / 消去	
クイックアンサー	—	音声メッセージを再生 / 消去	
スキャン CH	CH01 ~ CH65/ALL CH	スキャンチャンネルの設定	
RX イコライザー	OFF/ 低域強調 / 高域強調	受信音の音質設定	
TX イコライザー	OFF/ 低域強調 / 高域強調	送信音の音質設定	
ノイズキャンセル	OFF/ON	ノイズキャンセル機能の設定	
インテリ オーディオライト	OFF/ON	インテリジェントオーディオライト機能	
VOX	OFF/ON	VOX 機能の設定	
VOX 感度	レベル 00 ~ 08 ~ 15	VOX 感度の設定	
個別 通信 時の 追加 機能	アンサー バック	—	待ち受け画面に表示されている相手 局と、交信できる状態かを確認する 機能
	着信履歴	—	着信した信号の発信元を、新しい順 に表示 (最大 10 件)
	発信履歴	—	発信した信号の発信先を、新しい順 に表示 (最大 10 件)
	メッセージ 送信	—	あらかじめ登録されたメッセージ (最 大 10 件) の送信機能
	メッセージ 確認	—	受信したメッセージの表示 (最大 10 件)
自局情報	UC/ 個別 ID/ グループ ID	UC、個別 ID、グループ ID の表示	
無線機情報	周波数	現在の CH の周波数の表示	

※機能の詳細については取扱説明書を参照願います。



MOTOROLA SOLUTIONS

仕様は改良の為、予告なしに変更することがあります。

モトローラ、MOTOROLA、モトローラ・ソリューションズ、MOTOROLA SOLUTIONS、およびモトローラのロゴマークは、Motorola Trademark Holdings, LLC. の登録商標であり、そのライセンスに基づいて使用しています。

文中に記載されている他の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。

© 2021 Motorola Solutions, Inc. All rights Reserved.

モトローラ・ソリューションズ株式会社

http://www.motorolasolutions.com/ja_jp.html



製品の不具合、故障時の修理依頼などは、ご購入された販売店までお問合せ下さい。販売店が不明な場合、または販売店からサポートが受けられない場合は、下記までお問い合わせ下さい。

TEL 0066-33-813730 (通話無料)



MN007880A01-AA